

第45号 2007.6.4

高知県立幡多けんみん病院発行

〒788-0785

宿毛市山奈町芳奈3番地1

TEL (0880)66-2222(代)

http://www.pref.kochi.jp/~hata

病院ニュース

News Letter

病気のお話

皮膚科 高橋正人

『みずいぼ』について

みずいぼ、正式には伝染性軟属腫といえます。みずいぼは伝染性軟属腫ウイルスというウイルスの感染症であり、小児期によくみられるものです。成人にはほとんど認めませんが、時に性感染症として陰部にみられることや、最近ではエイズ患者に発症することもあります。

感染経路としては、ウイルスが直接的に接触することで感染するといわれています。特にアトピー性皮膚炎など皮膚が乾燥傾向あるいは湿疹病変があるところに合併しやすいとされています。またプール利用者が、タオルやスポンジ、ビート板を共用することも感染源とされています。

みずいぼは、1ミリから5ミリ程度の真ん中がへそ状に凹んだ丘疹です。この丘疹がアトピー

性皮膚炎など皮膚が乾燥しているとかかなり多発してきます。また掻くことも拡大させる原因となります。自覚症状は通常ないことが多いですが時にかゆみを伴います。

治療は多岐にわたりますが、大きく3つに分けられます。

1つ目は、理論的には数ヶ月から数年で自然治癒するとされていますので、そのまま放置することです。ただ、いつ治るかわからないことや、放置している間にみずいぼがどんどん増えていくことが欠点です。

2つ目はピンセットでつまみとる方法です。この方法は確実に除去できますが、子供にとつてかなりの痛みが伴うことが欠点です。

3つ目は、特殊な塗り薬や貼り薬での治療です。この方法の利点は痛みがなく治療できることです。欠点としてはみずいぼが脱落する前にかゆくなることや、薬を貼ったりすることの煩わしさです。

皮膚科では、みずいぼの状況によって治療法を選択しています。

部署だよ！

臨床検査科

検査室は血液や尿などの検査を行う中央検査室と、心電図や脳波検査などを行う生理検査室とに分かれています。

中央検査室は一階売店の後ろ側にあるため、あまり人目に触れることはありませんが、内部は大小様々な検査装置が並んで工場のような景観です。

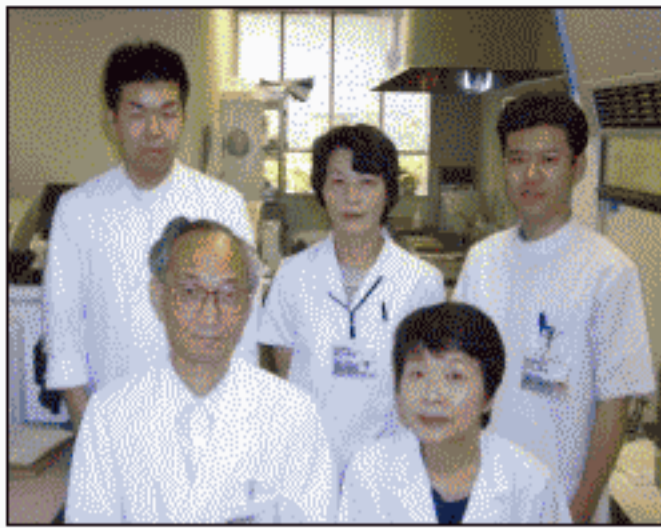


検体検査スタッフ

ここでは、患者さんの血液や尿、糞便などの検体を、化学的

な分析装置や顕微鏡を用いた方法で検査し、休日・夜間も含めて二十四時間体制で検査にあたっています。検査の結果は、病気の診断の補助や、治療の効果の判定に使われています。検査内容によっては時間のかかる項目もあります。患者さんをお待ちせしないよう迅速な検査を心掛けています。

また、当院の輸血部門は幡多地域における血液センター的な役割も果たしていて、近隣の病院からの要請にも二十四時間体制で対応しています。



病理検査スタッフ

中央検査室の中にはもうひとつ、病理検査を行う場所があっ

て、内視鏡で採取されてきた小さな肉片や、手術で取られてきた大きな臓器などについて詳しい検査が行われています。喀痰や尿の中の細胞、婦人科検診の細胞についてもここで検査されています。



生理検査スタッフ

生理検査室は二階のGフロックにあります。心電図・脳波検査のほか、肺活量、心臓や頸動脈の超音波検査、聴こえの検査などを行っています。直接患者さんと接して検査を行うため、技師は患者さんとの交流から、日々多くのことを学ばせていただいています。

常に患者さんに優しい検査室

でありたいと心がけていますので、何か困ったことや気をつけてもらいたいことなどありましたら声をかけてください。

からだにやさしい食生活

栄養科



今回は旬の味のレシピをご紹介します。

先日、農家をしている実家の畑から新たまねぎをひきぬいてきました。

新たまねぎは通常のたまねぎと比べて甘くみずみずしいのが特徴です。

たまねぎは加熱すると独特の旨みが出ますが、その分アリンという疲労回復などに効果のある成分は失われます。

今回は、日差しの強くなってきた初夏の疲れ対策に新たまね

ぎを生で使います。

【材料（2人分）】

○新たまねぎ 1コ

○豚肉（薄切り）100g

○にんにく 1かけ

○しょうが 1/2かけ

○合わせ調味料

（酒 小さじ2・しょう油 小

さじ2・だし汁 大さじ1・

オイスターソース 小さじ1）

○ごま油

①たまねぎは縦半分になり、芯を取る。薄切りにし、氷水で1〜2分さらし、水気を切る。

※さらす時間が長いと旨みが逃げてしまいます！

②にんにくとしょうがはみじん切りにする。合わせ調味料を合わせる。

③豚肉は細切りにする。フライパンにごま油を熱し、しょうがとにんにくを炒める。

香りがたったら豚肉を加える。肉の色が変わったら合わせ調味料を加え、水気がなくなるとまで炒める。

④器に新たまねぎを盛り、③をかける。好みでゴマをかけた後、刻んだ青ねぎをのせる。

県庁生協 ローソン

《幡多けんみん病院店》

オープン!

5月14日(月)、県庁生協ローソン幡多けんみん病院店がオープンしました。街角ではおなじみのコンビニエンスストアなので、病院内でもすっきり溶け込んでいるようです。



営業時間は、平日が8時から20時、土・日曜日及び祝日が8時から15時となり、以前に比べて平日の営業時間が長くなっています。

店内では、基本的にこれまでの商品と同様のもの(お弁当、パン、おにぎり、飲み物、雑誌など)を販売しています。人気

商品としては、おにぎり、焼餅、ハラミがおすすめ!(病院職員談)、デザート類(種類豊富!)があります。

もちろん、入院の際必要な身の回りの商品(オムツ、パジャマなど)もこれまでどおり販売していますので、ご利用ください。



また、ローソン全店で使用できるポイントカードもあるそうなので、店舗をたびたびご利用される方は、ご加入されてはいかがでしょうか。



領収書や再来受付機が

新しくなります

7月1日から医事会計システムを新しく入れ替えることになりました。

それにともない、皆様にお渡しする領収書の様式が変わります。今までは横長の様式でしたが、新しい領収書は縦長の様式になります。また、今までは複写式の用紙に印字していましたが、新しい領収書は普通の用紙に印字するため、紙質がかわります。普通紙に印字するため、カラーコピー機でコピーすると見分けが難しいため、複製防止用紙を採用することとしています。また料金の明細を表示できる欄が若干増えたため、より詳しい内訳を表示できるようになります。

また、再来受付機が新しい機種に入れ替わります。開院以来八年余りにわたって頑張ってきたくれましたが、ようやく引退となります。皆様が利用される

画面の操作方法は、できるだけ今までと違和感のないように受け継ぐこととしています。再来受付機の中にはパソコンが入っていて、そのOSがWindows 3.1という古いものを使用していたため、もしパソコンが故障しても交換がきかないという状況になっていました。

このたび、医事会計システムを入れ替えることとなった一番の理由は、厚生労働省が進めるDPC(診断群分類)による入院医療費の包括化への準備のためです。ここ数年来、医療費の制度が大きく変わってきており、今までの医事会計システムでは新しい制度に対応できなくなってきました。

入院医療費の包括化は現在、県内で三つの病院が実施しています。当院も来年度から実施することを目標に掲げ、準備を進めているところです。



病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中心となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

編集スタッフ体験レポート

五月三十一日、「過ぎきってしまふ初夏を愛しみながら、たまには粹に過ごしてみたい」と思い、四万十市街より十四キロメートルほど上流から屋形船に乗って、「螢がり」に出かけました。

日本には、三十種類以上の、世界には二千種類以上の螢が生息するようです。そのうちよく聞くのは、「源氏螢」と「平家螢」ではないでしょうか。地方によっては、呼び名も様々で、ウシボタル、コメボタルなどと言う地域もあるようですが「源氏螢」「平家螢」のほうが、情緒があると思いませんか？「源氏螢」「平家螢」の名前の由来にも、諸説あり、源平合戦の源



氏と平家から来ているという説や、源氏物語の主人公光源氏からという説もあります。

そんなこんなで、屋形船出発。四万十川でとれた天然うなぎの入ったお弁当を食べながら船頭さんに四万十川の話の色々と聞き、暗くなるのを待ちました。

大きな黄色い月が水面を照らして、ほんとに明るい夜でした。だいぶ暗くなってきたとき、対岸に緑色の光を発見してみんなで、大騒ぎ。螢の光を追っかけてみんなが動いた為、舟が傾く始末。暗闇に緑色の光を点滅させながら飛んでいる蛍に「きれい」「きれい」その言葉しかできませんでした。

持参していったカメラにも写すことはできず。あの雰囲気を感じひみなさんにも味わってほしいなあ。百聞は一見にしかずです。

ああ、とっても癒されたなあ。毎日ストレスの多い今日この頃ですが、おすすめの初夏の夕の過ごし方でした。



4月の統計

外来患者数	14,094人
新外来患者数	2,105人
紹介患者数	408人
新入院患者数	502人
退院患者数	541人
平均在院日数	14日
救急車・時間外患者数	1,585人
手術件数	195件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。